

災害の認識改め、備えるための努力を



河田恵昭氏

関西大学特別任命教授
社会安全研究所センター長

近年変わる災害

日本で「巨大災害」といいますと、地震と津波ばかりが目立って来ましたが、実際はそれだけではありません。歴史を遡ると死者十人以上の災害は、地震や津波以外にも、火山噴火、高潮、洪水など数多く起きています。

被害増幅する要因

また、地球環境の変化にも目を向けなければなりません。例えば、アメダスの記録をみますと、前半の20年間(1976年~1995年)と、後半の20年間(1996年~2015年)の観測データ

7月11日に開かれた「第8回日常診療交流会」で行われた、河田恵昭氏(関西大学特別任命教授/社会安全研究所センター長)の記念講演「大阪の災害を考える」医療機関はどう備えるか」の要旨を紹介する。

力学で「相転移」といいます。これと同じことが災害でも社会現象として起きているのです。私は、都市の人口と人口密度が大きくなると、災害などがきつかけとなり犠牲者数が激増することを研究で明らかにしました。つまり、災害でも同じように社会現象としての「相転移」が起きているのです。そして、災害による犠牲者の多くは、自然災害そのもので起きているのではなく、被害を増幅する別の要因により、起こっているのです。

東日本大震災の津波被害を例に出せば、約1万5千人以上の方が犠牲になったのは、津波が想定外(自然現象)の高さだったことが原因ではありません。住民の約27%が避難しなかった「相転移」(社会現象)が起こったことが理由です。

逆に言えば、相転移が起これなければ大被害の発生は避けられます。2016年に発生した熊本大地震は、地震の強さこそ阪神・淡路大震災と同規模ですが、「相転移」が起これなかったことで、想定よりも被害が少なかったことが、想

防災の要は「公助」

その上で、申し上げておきたいのは、日本の大被害は「相転移」が原因だということです。水は温度によって氷や水や水蒸気という風に変化していきます。これを熱

その上で大阪の問題について考えてみます。大阪で起こりうる大規模災害について発生確率から順らみていきますと、①首都直下地震(大きな間接被害)、②南海トラフ沿いの地震と津波、③スーパ台風による高潮氾濫災害、④台風による広域豪雨(淀川、大和川氾濫)、⑤集中豪雨による浸水被害(寝屋川氾濫)、⑥上町断層帯地震、生駒断層帯地震が挙げられます。さらに、これらの災害の組み合わせによって広域・複合・長期化災害になる恐れもあります。しかし、日本では、状況認識が

その上で大阪の問題について考えてみます。大阪で起こりうる大規模災害について発生確率から順らみていきますと、①首都直下地震(大きな間接被害)、②南海トラフ沿いの地震と津波、③スーパ台風による高潮氾濫災害、④台風による広域豪雨(淀川、大和川氾濫)、⑤集中豪雨による浸水被害(寝屋川氾濫)、⑥上町断層帯地震、生駒断層帯地震が挙げられます。さらに、これらの災害の組み合わせによって広域・複合・長期化災害になる恐れもあります。しかし、日本では、状況認識が

「公助」が重要となります。医療機関で相転移が起これなければ、格段の事前準備は不要で、通常の備えで良いのですが、だからといって対策を怠ってはいけません。日常の医療活動を維持するために必要なものについて、重要な順番を整理して、それぞれの対策や解決策を実施するなどの「自助」として、できる備えをしておく必要があります。

「災害は起これない」という思い込みが最も危険です。災害に備えるための努力を政府、自治体、そして我々一人ひとりが行わなければなりません。(大阪保険医新聞7月15日・25日合併号より転載)

度も提言をしているのですが、対策は進んでおらず、歯がゆい思いをしています。このように、災害に備えるためには「相転移」を起さないようにするには「公助」が重要となります。医療機関で相転移が起これなければ、格段の事前準備は不要で、通常の備えで良いのですが、だからといって対策を怠ってはいけません。日常の医療活動を維持するために必要なものについて、重要な順番を整理して、それぞれの対策や解決策を実施するなどの「自助」として、できる備えをしておく必要があります。

「Zoomのみ」政策学習会
コロナ禍の総選挙で問われるものゝ命と暮らし最優先の政治へ(仮)

日時 9月11日(土) 午後5時45分~7時15分
会場 ZoomによるWEB講習会
講師 石川康宏氏(神戸女学院大学教授・経済学者)
会費 会員・スタッフ無料 定員 60人

「Zoomのみ」9月度生涯研修
歯科用磁性アタッチメントの臨床応用

日時 9月12日(日) 午前10時~午後1時
会場 ZoomによるWEB講習会
講師 樽見進一氏(九州歯科大学歯学部歯学科口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野教授)
会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 90人
※参加費は登録口座からの引去とさせていただきます。

「Zoomのみ」歯科衛生士対象
歯科衛生士さんに知っていただきたい小児歯科の基本と最近のトピックス

日時 10月10日(日) 午前10時~午後1時
会場 ZoomによるWEB講習会
講師 仲野和彦氏(大阪歯科大学大学院歯学研究科小児歯科学教授)
会費 5千円 定員 90人
※お申し込みは協会ホームページ「行事予定」からお願いします。

大阪市西部・南部地区スタッフ対象講習会
医療接遇研修

日時 10月17日(日) 午前10時~午後1時
会場 保険医会館5階
講師 吉田富貴子氏(接遇マネーインストラクター)
会費 会員院所スタッフ3千円 定員 20人

医科・歯科組織部共催講習会
医学部受験セミナー・個別相談会

日時 10月17日(日) 午前10時~午後1時
会場 保険医会館2階
講師 医学部受験MEP
会費 会員・家族無料、未入会者1万円 定員 5人

無料相談
税務 9月15日(水) 午後2時~5時
雇用 9月16日(木) 午後2時~4時
法律 10月11日(月) 午後2時~4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

先日、広島に爆心地近くで被爆した父の体験を、娘が綴った小説を映画化した『8時15分 ヒロシマ 父から娘へ』をみた。映画に描かれる悲惨な状況に言葉もないが、主人公が語る「許す心が無ければ再び悲劇が起これる」という台詞に、私は心から納得できなかった。アメリカで制作されたというのも引かれる。核兵器投下は仕方なかったと言った昭和天皇、当時の政府、被爆者救済に背を向け続けてきた戦後の政府、被爆者を差別した人々を私は許せそうにないからだ。

原爆被害者に寄り添えているか

江原 豊(塚)

原爆で家族を失った建築家である日本人男性の難解な恋物語を描いた、『24時間の情事 (HIROSHIMA MON AMOUR)』(1959年製作、日仏合作)がある。男は「君は広島で何も見ていない」といって、広島で「すべてを見た」という女を否定する。男の言葉は私自身にも問われている。当事者にしか分からない苦痛、悲しみ、絶望、祈り、希望をどれだけ共有できているだろうか。沖縄、原発、災害、公害、戦争、性暴力、貧困。すべてにつながる問題として胸に刻みたい。

談話室 だんわ室

以前、クレジットカード決済のためのカードリーダーをほぼ無償で提供を受け、窓口には置いて経験がある。手数料はかかるが、最初のカードリーダーは無償だったしこれからはカードの時代だからと思いついて導入した。しかし、カードリーダーが故障した際、相談をたらい回しされた上、保証期間切れで修理費用もわからないと電話を切られた。結局、契約は切ったのだが、最近同じようにオンライン資格確認のための、無償のカードリーダー設置を勧める広告が頻りに送られてくる。インターネットを新たににつけ

メリット一辺倒に不安

藤井佐都樹(松原)

費用や故障時の対応については広告のどこを探しても見つかからない。知る限りで保証は5年。デジタル機器は保守料金がかることも多い。顔認証する度に2円ほどかかるらしいが、その手数料は保険者・患者・医療機関の誰が負担するのかはつきりしない。マイナンバーカードが保険証の代わりになると政府は盛んに「メリット」ばかりを宣伝しているが、負の部分については何も記載されていない。情報漏洩についての不安もぬぐえない。政府はデメリットについての不安を真摯に受け止めてほしい。

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



無料相談
税務 9月15日(水) 午後2時~5時
雇用 9月16日(木) 午後2時~4時
法律 10月11日(月) 午後2時~4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

「Zoomのみ」政策学習会
コロナ禍の総選挙で問われるものゝ命と暮らし最優先の政治へ(仮)
日時 9月11日(土) 午後5時45分~7時15分
会場 ZoomによるWEB講習会
講師 石川康宏氏(神戸女学院大学教授・経済学者)
会費 会員・スタッフ無料 定員 60人